

作物別経営指標プラン

【オリーブ（作型・露地・オイル販売を想定）】

1 対象経営の概要

保有労働力	2 人				
経営耕地面積		対象品目	面積	その他の作物	面積
田					
畑					
樹園地		オリーブ	50a		
草地					
(うち施設)					

土地 利用 体系	作目	面積	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	オリーブ	50a	1 年目		★	◆								
			2 年目以降（収穫は 4 年目以降）											
	お茶	200a				一番茶		二番茶		三番茶		秋冬番茶		
凡例	★定植 ◆剪定  収穫  管理：防除・草刈り・追肥等													

2 収益性

始めたばかり
【10a当たりの収量】
 オリーブオイル 4kg
【2人で出来る面積】
 オリーブ 50a(200本)
 年間収入 30万円



木の成長・栽培技術の向上により
【10a当たりの収量】
 オリーブオイル 40kg
【2人で出来る面積】
 オリーブ 50a (200本)
 年間収入 300万円

年間所得：1,650,000 円（年間収入 3,000,000 円－総経費 1,350,000 円）
 経費の内訳（10 a あたり）
 肥料代 ：10,000 円
 オイル製造経費：260,000 円
 物流コスト：圃場や出荷場までの距離に応じて変動
 10a 当たり経費：270,000 円程度
 50a 当たり経費：1,350,000 円程度（270,000 円×5）

3 前提条件

農地（土壌）	年間日照時間 2,000 時間（菊川市 2,119 時間、全国平均 1,915 時間） 弱酸性土壌（pH 6 ～ 7） 水はけのよい農地
茶転換	可能 茶園は酸性土壌（pH4.5 前後）のため土壌改良は必要。
複合経営	可能 管理期間は長いが手間が少ないため他作物と複合経営可能 取組事例）お茶
拡大可能性	あり 収穫期・出荷期に人を増やすことで規模拡大が可能 品種によって用途・収穫時期が異なるため、うまく組み合わせることで 収穫期・出荷期に人を増やすことなく規模拡大が可能 （参考例） 品種名：ルッカ 主な用途：オイル 収穫時期：10 月下旬～11 月中旬
持続可能性	あり 木を植えてから収穫できるまでの期間：4 年 収穫できる期間が永年果樹のため持続可能性が高い。 肥料、農薬などのランニングコストが低い。
収益までの期間	4 年
販路	自己開拓（ファーマーズマーケット、EC サイト等） 6 次産業化しやすい。（生産から加工販売） 取組事例）オリーブソルト、オリーブ茶、ピクルス、美容液
初期投資	50a の場合、一般的な農業用機械（トラクター、耕運機、管理機等）が必要。 専用の機械不要。 初年度に苗を購入（10a 当たり 160,000 円）